

2024 年 2 月 9 日

各 位

三菱 UFJ モルガン・スタンレー証券株式会社



中部国際空港株式会社が発行するソーシャルボンドの引受けについて

三菱 UFJ モルガン・スタンレー証券株式会社(取締役社長 小林 真、以下 当社)は、このたび、中部国際空港株式会社(以下 同社)が発行するソーシャルボンド⁽¹⁾(5 年債 100 億円、以下本社債)の引受けにおいて事務主幹事を務め、本日、本社債の条件が決定されましたことをお知らせします。

同社はソーシャルボンドの発行にあたり、国際資本市場協会(ICMA)が定める「ソーシャルボンド原則 2021」および「金融庁ソーシャルボンドガイドライン」に基づき、4 つの要素(調達資金の使途、プロジェクトの評価及び選定のプロセス、調達資金の管理、レポーティング)を記載したソーシャルボンド・フレームワークを策定しています。また、本フレームワークについて、株式会社格付投資情報センター(R&I)より、「ソーシャルボンド原則 2021」等との適合性に対する外部評価(セカンドオピニオン)を取得しています。

同社グループは、日本の主要ゲートウェイとして進化を続け、地域社会の発展に貢献するスマートで魅力的な拠点空港の実現を目指し、「Safety First, Centrair」「Sustainable Growth, Centrair」「Super Smart, Centrair」「Smile!, Centrair」という 4 つの「S」を掲げて SDGs 経営を実践しています。本債券の調達資金は適格事業である空港事業、交通アクセス施設事業、商業事業に充当される予定です。

2006 年に国連責任投資原則(PRI: Principles for Responsible Investment)が制定されて以来、世界の ESG 投資が拡大していることを受けて、資金使途を環境対策事業とするグリーンボンドや社会貢献事業とするソーシャルボンド、両方の特性を有するサステナビリティボンド、そして脱炭素社会への移行に関する事業を資金使途とするトランジションボンドの発行は増加傾向にあります。引き続き、当社は、企業・経済の成長と社会・環境との両立の観点から、ESG をテーマとした債券の引受けを一層推進するとともに、持続可能な社会の実現に貢献してまいります。

(本社債の概要)

名 称	中部国際空港株式会社第 12 回社債(一般担保付) (ソーシャルボンド)
発 行 年 限	5 年
発 行 額	100 億円
利 率	0.518%
発 行 日	2024 年 2 月 9 日
償 還 日	2029 年 2 月 22 日
資 金 使 途	法令に規定される事業のうち適格事業(①空港事業②商業事業③交通アクセス施設事業)に充当される予定
取 得 格 付	AA-(株式会社格付投資情報センター)
主 幹 事	三菱 UFJ モルガン・スタンレー証券株式会社 野村證券株式会社

(1) ソーシャルボンドとは、社会的課題解決に向けたプロジェクトに要する資金を調達するために発行する債券

※SDGs 債ロゴについて:SDGs 債に対し、日本証券業協会により使用が認められています。SDGs 債とは、調達資金が SDGs に貢献する事業に充当される債券や、SDGs の実現に貢献する KPI 設定/SPTs 達成型の性質を持つ債券で、環境・社会へのポジティブなインパクトを有し、一般的にスタンダードとして認められている原則に沿った債券や、事業全体が SDGs に貢献すると考えられる機関が発行し、インパクト(改善効果)に関する情報開示が適切になされている債券が含まれます。

以 上